

平成27年度 財政学習講座 アンケート(第3回)

1. 今回ご参加していかがでしたか？感想をお書きください。

A:今ではフローのお話でしたが今回ストック面からのお話で君津市の家計簿が多面的に見えてきました。

B:自治体における資産の意味が理解できました。

C:拝見したビデオの発言にあった「貸借対照表（バランスシート）を知るということは、自分のコミュニティを知るということだ」という言葉にとっても共感致しました。

耐用年数の正確な判断は資産の現状をきちんと知らないといけないんだと実感しました。税金を払っている市民としてあのビデオのような活動の必要性を感じました。私はまだ知らない現状がたくさんあります。「実際に見る」ことの大切さを実感しました。

D:君津市で企画された講座等のうち過去からの比較で最もすばらしい。今後も有意義な企画を立案してください。

E:使われたお金の積み上げが資産だ。先生のご教授で説明に理解が難しいところもありました。もうちょいと平易さにならんでしょうか。

F:資産は財産という思いが多少なりあった。確かに維持管理が大きな負担になる事で改めて確認する機会になった。

G:バランスシートの“資産”というものの本当の見方がわかりました。(資産=収入源ではない事)

H:習志野市のビデオで説明された固定資産の調査隊は興味深かった。

I:バランスシートの意味 よく理解できました。ビデオ鑑賞目先がかわり良かったです。

J:資産の定義が分かったのがよかった。

K:今回も全く知らない事であったり、実際の現状とお金の関係を知れたことは良かった。

L:わかりやすく良かったです。資産は使うことで生きてくること。維持・管理の必要性等資産は今後の負担となることが十分わかりました。君津市も現在財政が豊かな時代の遺物が多く考えさせられました。

M:“資産”というものの考え方がよくわかりました。君津市は今後建て替える必要がある公共施設が多いので心配です。

N:有形固定資産の他市との比較。有形固定資産のある年度を 100 として7項目の比較等とてもわかり易く意義ある講義だと思いました。

O:B/S の見方についてある程度理解ができました。

P:君津は基金が少ないのと総務費がかなり多いというのが問題なのではというのがわかった。

Q:①30 数年前会社で問題化したバランスシートが頭をよぎった。

②現実の君津の問題を考える時、問題化するバランスシート。

③身近に施設の老朽化が感じている。

④インフラの廃止総合は、現実の市民が考える事。しかし使っている人は不要使っていない人は必要の議論となる。

R:バランスシート探検隊のビデオを見て、すばらしい活動をされているものだと感心しましたが、さてこれを君津市で活動に結びつけるとなるとどうなるのか。

S:公会計では資産も「負担」というのが、改めて考えさせられた。

T:施設の建設の時維持費建て替えなども考えられているのでしょうか。それも含めて将来負担を考えているのでしょうか。もう少し勉強してこないとわからなくなってくる。まだまだ仕組みが良くわかっていない自分が情けない。

U:大塚先生の講義は小気味よく濃い内容をテンポ良く話して下さるのでとてもわかりやすいです。資産を「資金源」とみなすことは適切ではないと理解でき、資産もまた「負担」であるという考え方が納得できました。

V:今後の事を考えていくのにとってもよい学習でした。市の情報公開が楽しみです。

2. 当講座に関して今後とりあげて欲しい内容、詳しく知りたい内容がありますか？今後の運営の参考とします。プログラム以外のリクエストでも構いません。

C:市職員の方向けにも財政学習会があったかと思いますが、今後、その後の市役所の方でどのような課題視をして何を対応しているのかを公表して欲しいです。市と市民と一緒に考えたいです。その資産はそもそも誰のために何のためにあるものか・・・今回は本当に学びの必要性を強く感じました。

H:今後各科目の改善対策の例などを習いたい。

I:最近の葬儀・墓事情

K:実際の君津のことについて話しているのでとても勉強になります。毎度比較などをして頂ければ幸いです。

L:市内を実際に歩いて評価、検討していくような内容を習志野市のように行っていければと思いました。

O:君津と周辺都市の比較をしていただくと一層理解が深まると思います。

P:新日鉄の事業所が移転になったことの影響がどの位あるのか知りたい。

U:君津市の総務支出が多い理由をもう少し詳しく知りたいと思います。

V:お金のことも大切ですが、その施設がどのように住民のために役立っているのか、街づくりのためにしているのか、という基準も含めてその施設の価値を考えていくようにしたいです。

3. その他、ご意見等があれば自由にお書きください。

B:大変有意義な講座だと思います。

C:資産の維持、管理はお金がかかりますがその資産が市民の安全安心をうむことにもなり反対に不十分な維持、管理では問題が生じる、又、資産ひとつひとつに状態利用価値地域性・・・実際にきちんと個々をみていくと様々な違い、持ちようがあり、とても難しい問題だなあ・・・と思いました。しかし、後半のビデオで橋の老朽化に対する予防保全型の対応を拝見しはっとしました。方法はある・・・。資産は「資産源」ではないときちんと理解し実像を把握し使うべきものの保持すべきものの視点で判断していかなくてはです。

G:君津市は財政は安定といわれていますが、基金等の減少、有形固定資産の整備など未来の負債の増加が心配されて問題だと思います。

有形固定資産の学校などが空きが出てきたら他の目的の施設として（老人施設など）使える方法を早めに考えれば改修の場合も方法が変わると思います。

H:総務の固定資産が大きいのは文化ホールの改善が必要なのかと思う。

K:とてもわかりやすく毎度楽しみです。ありがとうございます。

Q:身の丈にあった市政でありたい。又、市民は理解して要求、主張すべき事だと思う。

S:だんだん財政会計のことが理解してきました。面白くなってきました。

T:この講座の目的が少し見えてきたようです。

U:駐車場が狭いのですが、他に利用できるスペースとして八重原小の公民館寄りには利用出来ないのでしょうか？